

9月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/09/01 (木)	東京はレンジ相場。ドル弱気センチメントはうかがえるが週末の米雇用統計待ちで一段の売りは手控えられた。欧米でドルは急落。対円で100P、対ユーロでは150Pにも及ぶ下げを記録した。全面安の商況。	・ECBが金利の据え置きを発表 ・8月の米ISM製造業指数53.6、7月の米個人所得0.3%、同消費1.0%	・ブッシュ大統領がハリケーン被害についてFRB議長と緊急協議(そのうち米大統領が議長に利上げ見送りを要請したとのウワサも) ・CEA委員長「カリナによる影響は一時的で穏やかなものに」	110.72	136.63	寄付
05/09/02 (金)	東京はドルが小幅続落。財務省寄りで見られた武藤氏の発言もあり円買い優勢ムード。欧米は結局行って来い。米雇用統計悪化でドル売り進むも、終盤は3連休前の調整が優勢。	・FRB議長が緊急記者会見のウワサ ・IEA加盟国が米国へ原油備蓄を放出へ ・8月の米失業率4.9%(5%割れは4年ぶり)、同非農業者雇用数16.9万人	・武藤日報副総裁「06年度に掛け量の緩和解除の蓋然性が高まっている」 ・米財務長官「ハリケーンの影響で第1四半期程度は成長軌道が妨げられるだろう」	109.92	137.16	寄付
05/09/05 (月)	東京はドル安。ハリケーン被害が明らかになるにつれ、利上げ見送り論強まり嫌気したドル売りも。欧米は揉み合い。ドルの基調は弱く対円では一時109円を割り込むもそのレベルでは買い戻しも。	・7日の米中首脳会談がハリケーン被災地救援優先から延期に ・米国市場休場	・一部米紙「ハリケーン被害は1000億ドル、死者は1万人の可能性」 ・ITF当局者「19日のOPEC総会で100万バレルの増産決定へ」	109.75	137.57	寄付
05/09/06 (火)	東京は一転ドル高。原油価格の下落に加え、著名FEDウォッチャーコメントがドルの買い材料に。欧米はドル強含みもレンジは抜けられず。原油の下落続き、それ自体はドル高要因がなくならず。	・インドネシアが通貨安阻止のため政策金利を50BP引き上げ ・独イーオンが英スコティッシュパワーの買収検討、100億ポンド--の一部報道 ・8月の米ISM非製造業指数65.0 ・FRB議長が来月17、18日に来日へ	・ジョンハリー氏「ハリケーン後もFOMCは利上げ実施へ」 ・中国匿名筋「人民元切り上げ、当面は実施せず」 ・SNB総裁「景気が改善していけば金利は上昇する」	109.43	136.86	寄付
05/09/07 (水)	東京はユーロ高。とくに材料はなかったが終盤ユーロドルでまとまった動きが見られユーロ一段高の展開。欧米は一転ドルの独歩高。米金利が上昇したうえ要人からの強気発言なども聞かれ、ドル買い進む。	・8月の外貨準備高は外債評価増などで過去最高の8477.66億ドル ・カナ中銀が金融政策据え置き ・第2四半期の米非労働部門生産性1.8% ・米地区連銀報告発表される	・一部報道「米財務副長官がAPECでアジアに為替相場の柔軟性拡大を要請」 ・シカゴ連銀総裁「FOMCはインフレ圧力に適切に対処する」	109.45	136.36	寄付
05/09/08 (木)	東京は円が小幅安。発表された指標が悪化していたうえ、株価が軟調推移するなど悪材料重なる。欧米は原油価格が一時大きく下落したことを材料にドル買い進む。しかし原油が反発するとドルは小反落。	・7月の機械受注 4.3% ・日銀月報が3ヶ月連続で景気判断を上方修正 ・日銀政策決定会合は7:2で政策据え置き	・渡辺財務官「G7は原油が主要議題、為替は大議論の必要ない」 ・CEA委員長「カリナ、短期的には米経済に影響与えるだろう」 ・SF連銀総裁「米利上げの必要性、以前ほど明白ではない」	110.18	136.72	寄付
05/09/09 (金)	東京は日曜日の衆院選をにらんでかバツ風。ドル/円は終日通して値幅わずかに20P。欧米は円が急騰。対ドルのほかりスでも1円を超える独歩高となった。選挙での楽観論が円買い後押し。	・FRBが来年初めのFOMCの日程を変更 ・米インテルが本国投資法による63億ドルの利払いを発表	・中国財政相「人民元を基本的に安定させる、改革は徐々に実施」 ・中国人民銀行総裁「7月21日のような人民元制度変更は計画せず」	110.46	137.04	寄付
05/09/12 (月)	東京は自民党大勝にもかかわらず円が湧かない。しかしユーロはそれ以上に弱く独歩安の商況。欧米でもユーロ安も流れ止まらず。蘭政府の発表に加え原油安もユーロ売りの後押しとなった。	・第2四半期のGDP改定値0.8%(速報値は0.3%) ・7月経常黒字1兆6498億円、8月対内外証券投資の対日株式投資は2兆1027億円と過去2番目の規模 ・LAで大規模停電発生	・前日実施された総選挙で自民党歴史的圧勝 ・ダラス連銀総裁「ハリケーンの影響は判断急がず」 ・オランダ政府が年金改革を07年1月まで延期すると発表	109.20	135.57	寄付
05/09/13 (火)	東京は円が小幅安。とくに大きな材料はなかったものの、短期スパンの調整などから円は弱含み。欧米は一時ドル高に振れるも行って来い。貿易赤字が予想を下回ったことでドル買いとなったが続き。	・日銀が政策決定会合議事録発表 ・7月の米貿易赤字 579億ドル、8月の米PPI0.6%	・米財務長官「米経済は来年初めまでに持ち直す見通し」	110.20	135.49	寄付
05/09/14 (水)	東京は円が小幅高。岩田発言を受けて量的緩和解除思惑高まり、それが円買いを後押し。欧米は円が小幅続伸。東京の流れのほか、ECB総裁発言から人民元切り上げ思惑なども聞かれていた。	・FT紙「来週のFOMCで利上げへ」 ・8月の米小売売上高 2.1%、同鉱工業生産0.1%、同設備稼働率79.8 ・米デルタ航空とノースウエスト航空が米破産法を申請	・岩田日報副総裁「量的緩和解除、現在はとも出口に近いところまで来ている」 ・ECB総裁「G7では為替について議論する」	110.67	135.97	寄付
05/09/15 (木)	東京はユーロが続落。終盤近くまで持ちこたえていたが欧州勢が参画後急速に値を崩した。欧米は一転円安。米指標はかなりの悪数字並ぶもハリケーンの影響との見方からドル売りに繋がらず。	・SNBが金利据え置きを決定 ・8月の米CPI0.5%、9月のNY連銀景況指数17.0、同FF連銀景況指数2.2、週間ハース新規失業保険申請者数は10年ぶり悪数字39.8万件(後者3指標はハリケーンの影響も)	・岩田副総裁「ドル脱却の展望は明るい」	110.57	135.72	寄付
				109.60	136.43	安値
				110.93	137.38	高値
				109.82	137.30	終値
				109.20	137.10	安値
				110.06	137.80	高値
				109.82	137.60	終値
				109.75	137.57	寄付
				108.75	136.57	安値
				109.80	137.65	高値
				109.15	136.90	終値
				109.43	136.86	寄付
				109.13	136.35	安値
				109.84	137.02	高値
				109.65	136.68	終値
				109.45	136.36	寄付
				109.40	136.30	安値
				110.30	137.40	高値
				110.10	136.71	終値
				110.18	136.72	寄付
				110.05	136.71	安値
				110.64	137.32	高値
				110.50	136.99	終値
				110.46	137.04	寄付
				109.48	136.10	安値
				110.76	137.60	高値
				109.69	136.10	終値
				109.20	135.57	寄付
				109.19	134.90	安値
				110.38	135.78	高値
				110.35	135.59	終値
				110.20	135.49	寄付
				110.12	135.43	安値
				111.06	136.27	高値
				110.65	135.73	終値
				110.67	135.97	寄付
				109.88	135.31	安値
				110.72	136.04	高値
				110.38	135.59	終値
				110.57	135.72	寄付
				110.16	134.55	安値
				110.73	135.75	高値
				110.65	135.21	終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで